

+TD

Plus Tokuyama Dental

トクヤマデンタル倶楽部会報誌
歯科医院と患者のプラスになる企業を目指して

2010 February vol.2

Dr. Newton Fahl, Jr.
Interview / Clinical Cases & Techniques

初来日記念講演を終えて・・・

桃井 保子 / 高橋 登 / 大谷 一紀 / 大河 雅之 / 中原 悦夫

高齢化社会に適応する総義歯とは
～総義歯難症例に対応したデンチャースペース義歯～
加藤 武彦 × 田中 五郎

Learning about Dentin Hypersensitivity

知覚過敏を知る

～「トクヤマ シールドフォース」のポテンシャル～

富士谷 盛興 × 日野浦 光

Beauty dentist's voice vol.2

「理想はエステ感覚。」

患者さんの笑顔を引き出すことが私の診療スタイル。」

昭和大学歯科病院 美容歯科 古川 匡恵先生インタビュー

COMPOSITE ARTISTRY
Creating Anterior Masterpieces

Message from
Dr. Newton Fahl, Jr.



Dr. Newton Fahl, Jr. 初来日記念講演
COMPOSITE ARTISTRY
 Creating Anterior Masterpieces

2009.09.06
Dr. Newton Fahl, Jr.
 初来日記念講演会を
 終えて・・・

Dr. Newton Fahl, Jr.初来日記念講演を記念して、国内の著名な先生方をお招きし、パネルディスカッションを行ないました。そのパネルディスカッションにご参加いただいたチャーター及びパネラーの先生方に、講演会に関するご感想を寄せていただきました。



Thoughts on the lecture



Kazunori Ohani

大谷 一紀先生
 青山ホワイトリア 院長
 大谷歯科クリニック

Dr. Newton Fahl, Jr.初来日記念講演会に自身もパネリストとして参加した。講演は、コンポジットレジン材料の理工学的な話、ビタシェードの概念とは異なった色調の捉え方、そして数多くの充填テクニックを豊富な症例とともに紹介した後に、ライブデモという大変充実したものであった。

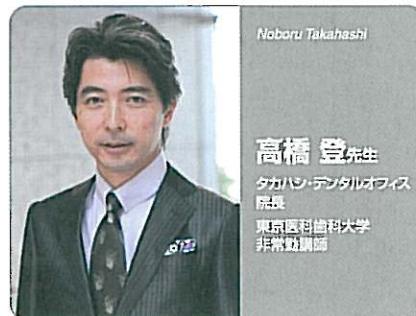
Dr. Newton Fahl, Jr.のコンポジットレジン直接法(ダイレクトボンディング)による天然歯の模倣は、まさに「Artistry Creating Anterior Masterpieces」という演題名そのものと言えた。日本でもMI概念の広まりとともにダイレクトボンディングの様々なテクニックを目にする事が多いが、Dr. Newton Fahl, Jr.の卓越したテクニックは自分の想像を遥かに超えるものであり、ダイレクトボンディングがこれからの臨床において大きなアドバンテージになる事を示してくれた。



Yasuko Moroi

桃井 保子先生
 真珠大学歯学部歯科
 保存学第1講座 教授

講演者が自身の治療テクニックを聴衆の目の前で披露するシーンに、これまで幾度も遭遇してきたが、今回のDr. Newton Fahl, Jr.に優る御仁はいなかった。上顎前歯の破折を直接コンポジットレジンで修復する一部始終を、ありのまま見せてくれた。途中、何の省略もせず、ごまかしも皆無、特別な材料や器具を使用しているわけではないのに、その見事な仕上がりに息を呑んだ。米国では、Dr. Newton Fahl, Jr.のコンポジットレジン修復を見る前に「素晴らしい!」と言ってはいけないそうだが、今回の講演で納得ができた。コンポジットレジン修復の高い芸術性が余すところ無く聴衆に伝わったのではないだろうか。超売れっ子のDr. Newton Fahl, Jr.を、この時期に初来日させたトクヤマデンタルの見識と実力に敬意を表したい。



Noboru Takahashi

高橋 登先生
 タカハシデンタルオフィス
 院長
 東京医科歯科大学
 非常勤講師

Dr. Newton Fahl, Jr.はブラジル・クリチーバを本拠地としクリニックとインスティテュートを構えているが、そのブラジルの紹介から講演をテイクオフさせた。Dr. Newton Fahl, Jr.はCR直接充填におけるマテリアルセレクションにおいて、光透過度の異なるレジンを選択する事を強調した。また、レイヤリングにおいてはそれぞれのレイヤーの厚みが修復物の色調に影響を与える事に言及した。歯槽骨線下に及ぶ破折歯をコンポジットレジン直接充填にて修復した症例紹介は衝撃的であったが、Dr. Newton Fahl, Jr.のコンポジットレジンに対する情熱と信頼を象徴する印象的なケースであった。今回のDr. Newton Fahl, Jr.は米国講演ではみられないほどの気力に満ちており、著者が今まで拝聴した中でも最も高い完成度を誇る講演であった。



Masayuki Ohkawa

大河 雅之先生
 代官山アドレス
 歯科クリニック 院長

私とDr. Newton Fahl, Jr.は昨年、共に演者として招待されたスペインの学会で初めてお会いしました。その学会の期間中、何人もの著名な先生方がDr. Newton Fahl, Jr.を絶賛されていたのが印象的でした。実際その講演とダイレクトコンポジットの技術は素晴らしい、まさに時の人でした。今回のデモンストレーションも含めた講演プログラムは無駄がなく、ご参加された方々は、華麗なコンポジットワールドを一日堪能された事でしょう。また、Dr. Newton Fahl, Jr.の真摯なお人柄にも好感が持った事と思います。現在、世界では積層充填によるダイレクトコンポジットが非常に盛んで、MIや歯科医だけで当日に処置が終わる事など利点も多くその裾野を広げています。今回の講演が日本でのダイレクトコンポジットのさらなる普及につながれば幸いです。



Eisuo Nakahara

中原 悦夫先生
 医療法人社団共立歯科
 クリニックデュボワ
 理事長

今歯科界は、従来の修復・補綴といった回復的歯科医療から予防的ケアあるいは学際的アプローチといった創造的歯科医療へパラダイムシフトしています。また、マイクロスコープの普及により、より精度の高い治療やケアが可能になり、MIに基づいた治療がさらに現実味を帯びてきました。特にダイレクトボンディングは私たちの臨床の個性を最大限に引き出してくれるテクニックとして、単に修復としての接着性や強度の向上、あるいは審美的な色彩の向上に留まらず、その多様性は咬合治療、歯周治療、そして矯正治療へと応用範囲が広がっています。Dr. Newton Fahl, Jr.はこれまで口腔外でしか実現できなかった精密な作業をすべて口腔内で行えるようその技法をまとめ上げ、コンポジットレジンの特性を最大限に引き出しました。そしてその表現方法は、私たちにデンタルアーティストへの道を切り開いてくれたのです。